

令和2年度 第1回恵庭市救急医療対策会議記録

日 時：令和2年6月12日（金） ※返信期日

場 所：書面による開催

【理由】新型コロナウイルス感染予防のため

（委員）貝嶋委員、福原委員、石川委員、江川委員
川上委員、安保委員、北越委員（副市長）、北国委員（消防長）
狩野委員（保健福祉部長） 9名
（市）保健センター長、保健課長、
母子保健・食育担当主査、保健予防担当主査
スタッフ

※各委員へは会議資料を送付し、6月12日（金）までに意見等を求めた。
報告事項は下記のとおり。

◎報告事項

【1】令和1年度初期救急医療の実績について

- (1) 夜間・休日急病診療所の実績
- (2) 夜間・休日在宅当番医療機関の実績
- (3) 市民の二次救急への転送状況（夜間・休日急病診療所）
- (4) 恵庭市夜間・休日急病診療所運営費の状況

【2】令和2年度関係事業の推進について

- (1) 休日・夜間等救急医療体制
- (2) 2次救急医療への助成

◎委員からの質問・意見については下記のとおり

【1】令和1年度初期救急医療の実績について

- (2) 夜間・休日在宅当番医療機関の実績

A委員

例年ですが、年末年始は急病診療所が休診になるため当番病院に患者さんが多く受診されてることがよくわかります。年末年始の診療体制について、改善することはできないものかと感じました。

事務局

年末年始の救急当番については、医師会と協議のもと二次救急医療機関に対応頂いております。診療体制の改善につきましては、市内医療機関で受け入れできる医療機関が限られている状況であることから、時期的にも受診者が多くなりますが、今後においてもご理解とご協力を頂き、継続して参りたいと考えております。

【2】令和2年度関係事業の推進について

- (2) 2次救急医療への助成

B委員

二次医療機関への助成予算について1人当たりの助成額3,000円を5,000円に増額していただけないか、どこの医療機関も救急部門の収支は赤字です。

A委員

恵庭市の救急搬送状況から、市外への搬送数が増加傾向にあるように感じます。当院でも可能な限り受け入れをしたいと院長の方針でもあり、努力していますが、救急受け入れ体制の不備もあり、行政で救急施設を整備するなどの検討はされないでしょうか。

事務局

助成額につきましては、以前、医師会との協議を経ての額となっており、助成額の増額については、他の二次救急医療機関や医師会とも協議して参ります。

また、救急施設の整備につきましては、医療体制に係る事項でありますので、道内の救急医療体制について情報収集し研究して参りたいと考えております。

【3】その他

A委員

新型コロナウイルス感染症に当院でも対応に苦慮をしています。今後もコロナ対策や冬期にはインフルエンザの流行など、感染症に対する取り組みについての検討が必要だと思えます。救急対応をしたとしてもできない施設があると思いますが、市外に搬送される住民の方が気の毒です。

C委員

新型コロナ疑い救急患者の対応については、従来に比べて格段に困難な状況であると承知しています。救急医療提供という重責を担われている関係者の皆様に対し、心から敬意と感謝を表します。

D委員

日頃より救急業務に対しまして、御理解と御協力を頂いておりますことに消防本部を代表しまして感謝申し上げます。